



与論小だより

学校教育目標：校訓「至誠」を胸に、未来に挑む子供の育成



ブログはこちら



「〇〇の秋」に思う

校長 岩元 輝美

10月中旬から11月中旬にかけても様々な行事があり、いろいろな場面で子供たちや職員のがんばる姿、それを支えてくださる保護者や地域の方々の姿を目にすることができました。(ブログで毎日発信していますのでご覧ください。)特に、11月1日(火)からの一週間を「自由参観週間」とし、9時から15時までの都合の良い時間に、子供や学校の様子を見ていただきました。授業時間はもちろん、給食時間の参観もあり、学校給食への理解も深めていただきました。また、来年度入学予定園児保護者の参観もありうれしく思いました。一方、来校を心待ちにする子供もたくさんいたり、参観者のアンケートの温かい励ましの言葉に職員も勇気付けられたりと、有意義な一週間となりました。ありがとうございました。

さて、吹く風が秋を感じさせてくれます。そんな中、先日開催された「第31回ヨロンパナウル健康ウォーク」に参加しました。与論でお世話になって1年半経つのに初めて通るコースもたくさんあり、与論のすばらしさを再発見しつつ、たっぷり秋を感じながらいい汗をかくことができました。そこでふと頭をよぎったのが、「〇〇の秋」という言葉です。読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋など、挙げればいくつも浮かべられます。与論小の子供たちが、どの「〇〇の秋」を思い浮かべ、取り組んでくれているか、とても気になります。次の「〇〇の秋」も思い浮かべてくれているのでしょうか。それは、「学びの秋」です。



「学び」という言葉から、「勉強」をイメージする方も多いことかと思えます。でも、「学び」にはいろいろなことが含まれます。「読書」を通して様々な事柄や考えに触れることや、「スポーツ」を通して体を鍛えること、「芸術」を通して感性を磨くことも、すべて「学び」につながります。「学び」とは関係なさそうに感じる「食欲」も、食材の栄養素を調べたり、調理法を工夫したり、食事のマナーを身に付けたりすれば、これも「学び」と言えます。きっと、他の「〇〇」も、「学び」につながると思えます。生活の中にある何気ない興味・関心から、「学び」への一歩が始まります。秋は、気候も穏やかで過ごしやすく、「学び」を広めたり、深めたりするには大変良い季節です。ぜひ御家庭でも、「学び」の一歩につながるようなことを話題としていただきたいと思えます。

最後に、「見える学力」としての「学び」について、保護者の皆様にはお願いです。子供たちは、学校の授業の中で、日々新しいことを学び、身に付けていこうとがんばっています。ただ、その力を定着させるには、家庭学習における復習が重要です。12月6日(火)と7日(水)には全学年で標準学力検査CRTが、来年1月には鹿児島学習定着度調査(対象5年)が実施されます。これまで、家庭学習への雰囲気づくりや励ましの声かけ、宿題の丸付けや直しなどの見届けをお願いしているところですが、改めて御協力をお願いいたします。学校と家庭がベクトルを揃え、子供たちの未来へ挑む力の源となる学力向上に取り組んでいきましょう。

